



新入生たちと対話する大平氏

「あなたの願い、聞かせてください」——大平よしのぶ衆院中国比例候補は新年度を迎え、新生活への期待や不安、政治への思いを伺いながら、党の「経済再生プラン」など積極的に紹介。「政治を変えれば暮らしはもっとよくなる」と希望を語り広げています。

Change & Hope
政治
変えて

暮らしに希望を!

隠岐の島へ

離島でも安心して暮らせるように

入学式会場で

資本主義を知りたいと加盟

4月1日、岡山県内で民青同盟の皆さんとともに、シールアンケートを片手に大学の入学式を終えた新入生と対話しました。アンケートは「どんな社会で生きたいか」を選択式で問うもの。「休める働き方の社会」「奨学金返済の心配ない社会」などと書いた木のイラストに花びらのシールが次々に貼られました。

「みんなの才能が開花する社会」にシールを貼った薬学部の新入生。紅麹問題の話題になり「国民の命や健康よりもお金もうけ優先の社会でいいのか」との大平氏の問いに「僕もそう思います」と。新入生は27日に予定される志位和夫議長の学生オンラインゼミに興味を示し「資本主義を知りたい」とその場で民青に加盟しました。

3月18日・19日で、島根県の隠岐の島に渡りました。町役場をはじめ森林組合やJAなどを訪問。隠岐は輸送コストがかかるため物価が本土より2割高いなど、離島ならではの実情が語られました。農林水産業従事者への所得補償や深刻な医療・介護の人材不足に対する独自の支援策の要望が寄せられました。大平氏は「どこに住んでいても安心の暮らしを守るのが国政の一番の仕事だ」とのべ、離島の問題を国会に届けたいと決意表明しました。

訪問後には街頭宣伝も。大平氏は懇談で寄せられた声も紹介しつつ、国民の暮らしそっちのけ、金権腐敗の自民党岸田政権に対して4月の衆院島根1区補選、来たる解散・総選挙で厳しい審判を下そうと呼びかけました。



隠岐の島町長と懇談する大平氏ら



街頭からも元気づけよう

業者

たたかってこそ希望広がる

労働者

「重税反対全国統一行動」 in 庄原集会 3/13

「わしらには増税、自民党は裏金で脱税など許さんぞ!」と業者の皆さんから怒りの声が続々と上がりました。



「2024年国民春闘勝利」 広島県決起集会 3/14

「すべての労働者の大幅賃上げ、底上げを!」のコールに若者たちからの「そうだー!」「いいぞ!」との共感の声が寄せられました。



日本共産党とご一緒に政治を変えましょう。「しんぶん赤旗」拡大にご協力を。

友達募集中!

衆議院比例代表は「**日本共産党**」と政党名で 候補者名は無効

大平よしのぶ
LINE 公式アカウント

